

リンパ節からのFNA (fine-needle aspiration) 生検の手順案内

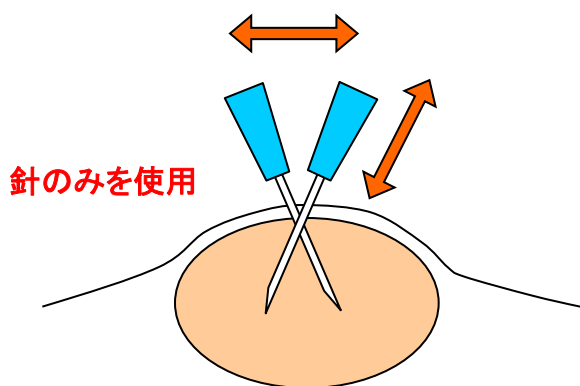
リンパ系腫瘍(特にリンパ腫)の検査を行う際、リンパ節からのFNA (fine-needle aspiration)生検が汎用されていますが、稀に適切な検体採取がなされていない為、精度の高い検査が困難な場合があります。そこで、本案内ではFNA生検を行う際の注意点、並びに検査項目に合った検体の取り扱い方法などを列挙しましたので、ご活用下さい。

1. 穿刺・吸引

ニードルオフ法とニードルオン法の2つが存在しますが、採取される細胞の質・量に違いが出ます。

	ニードルオフ法	ニードルオン法
採取細胞量	少ない	多い
細胞破壊	起こり難い	起こり易い
血液混入	起こり難い	起こり易い
適用検査	細胞診、 クローナリティー解析(G0003、G0010)	リンパ球表面マーカー解析(F0006)、 クローナリティー解析(G0003、G0010)

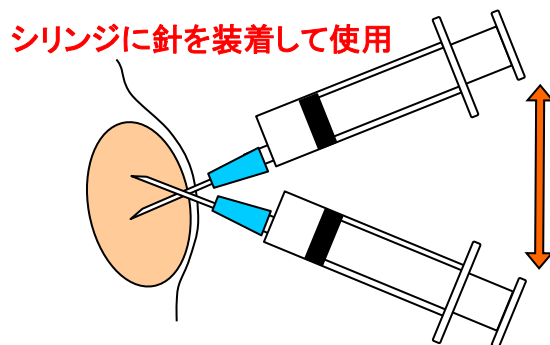
ニードルオフ法



- 1) 針のみでリンパ節に刺入する
- 2) 針を抜ききらずに、方向を変えつつ
何度か前後に動かす(5~8回)
- 3) 針を抜き、シリンジを装着し、吹き出す
(裏面参照)

* ニードルオフ法による採取量が極端に少ない場合はニードルオン法を選択してください

ニードルオン法



- 1) リンパ節に刺入する
- 2) 一定の陰圧(1 cc/分程度)をかけつつ、
何度か針の方向を変える
過剰なポンピング動作は行わない
- 3) 針のフランジ部に少量・混濁した液体が見えてきたら陰圧を解除し、針を抜く
- 4) シリンジを外し、シリンジを装着し吹き出す
(裏面参照)

株式会社 ケーナインラボ

〒184-0012

東京都小金井市中町2-24-16

農工大・多摩小金井ベンチャーポート302

電話:042-401-2291(代表)

042-401-2294(検査室)

FAX: 042-382-7384

HP: www.canine-lab.jp E-mail: info@canine-lab.jp

お気軽にお問い合わせ下さい。



検体集荷

株式会社 モノリス

〒182-0012

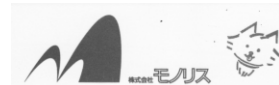
東京都調布市深大寺東町8-31-6

電話:042-443-7200(代表)

042-443-6181/6183(集荷)

FAX: 042-443-6182

検体集荷はモノリスが代行しています。



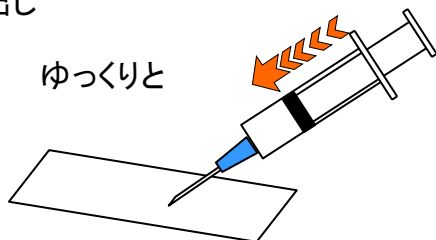
2. 吹き出し

スライドガラスへの吹き出しと生理食塩水へ懸濁させる方法があります。どちらの方法も急速な吹き出しによりリンパ球が破壊されることがあるため、ゆっくり圧をかけて吹き出して下さい。

	スライドガラス	生理食塩水
適用検査	細胞診、 クローナリティー解析(G0003、G0010)	リンパ球表面マーカー解析(F0006)、 クローナリティー解析(G0003、G0010)

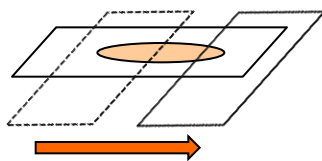
スライドガラスへの吹き出し

1) 吹き出し



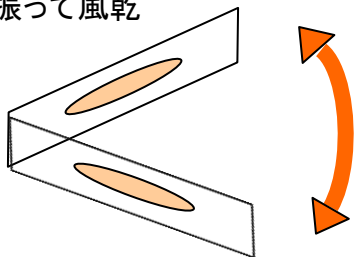
2) 塗抹

素早く、平行に



3) 乾燥

素早く、よく振って風乾

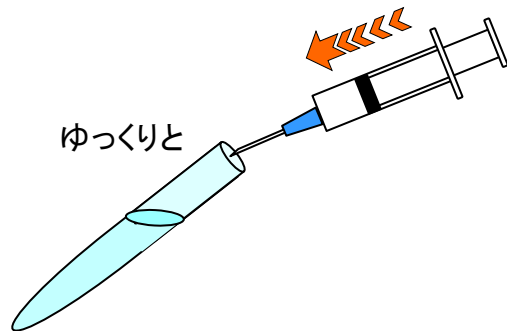


4) 固定・染色・封入

細胞診を希望される場合には、スライド作製直後の染色をお勧めします。クローナリティー解析のみを希望される場合には染色は不要です。

生理食塩水への吹き出し

1~2ccの生理食塩水をゆっくり吸い、シリンジ・針内の細胞を洗い流す



* 検体量の目安 *



リンパ球表面マーカー解析(F0006)

生理食塩水の中に組織・細胞の塊が十分に採取されている必要があります。例えばチューブの裏に紙を置いた場合に、チューブを通して文字を読むことが困難な状態です。



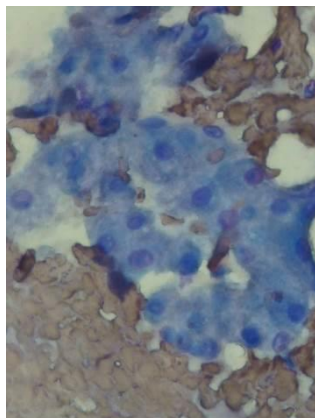
クローナリティー解析(G0003、G0010)

生理食塩水の中に組織・細胞の塊が確認できる、または生理食塩水が濁る程度です。チューブの裏に紙を置いた場合に、チューブを通して文字を読むことが可能です。

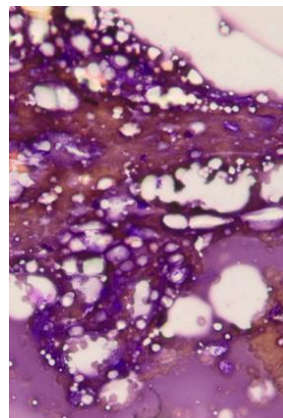
3. 周囲組織への誤穿刺

リンパ節の穿刺の場合、誤って周囲の組織を穿刺してしまう場合があります。適切な結果が得られない場合があるため、十分に注意して下さい。

注意すべきリンパ節	周囲組織	誤刺入による問題
下顎	唾液腺	唾液腺組織の採取 (リンパ節評価不能)
浅頸・膝窩	豊富な脂肪組織	脂肪の混入による 希釈、リンパ球破壊



唾液腺



脂肪組織